

- 再生可能エネルギーの活用：創エネ
- 建物の省エネルギーの徹底：省エネ
- 森林整備・保全によるCO₂吸収：固定

三重大学 キャンパスのカーボンニュートラル（キャンパス緑花・葛編）

知っていますか？

写真の蔓性植物は、キャンパスで共生している秋の七草の葛です。

■ 植栽樹木と葛の共生

現在、家畜の飼料等としての葉の利用も少なくなり、植栽樹木の生育を阻害する弊害が課題になっており、本学においても植栽への影響が及ばないようにしています。

蔓の株切りなどの防除作業は、8月に一時生育が停止する葛の成長サイクルを活かした作業が効果的と考えられています※3。



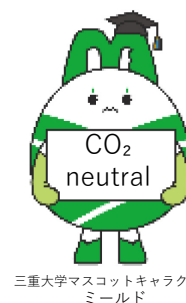
■ 人と葛の共生の一端

葛は、マメ科クズ属の蔓性の植物です。秋の七草の一つでもあり、山上憶良が詠んだ歌が万葉集※1に収められています。

1537 秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七種の花
1538 萩の花 尾花 葛花 撫子の花 をみなえし 藤袴
朝顔の花

また、葛湯の葛は根っこからデンプンを取り出して加工したもので、現在も漢方薬や胡麻豆腐・お菓子などに利用されていますが、すでに飛鳥時代の遺跡から

「葛根」の記載のある木簡※2が発見されていることから、葛根の利用が古代まで遡ることも知られています。



2050カーボンニュートラルに向けた取組計画

国立大学法人 三重大学
地球環境センター
施設部 2024年11月



※1 [件名・細目]「万葉集 8」（特026-0005-0008）、国立公文書館デジタルアーカイブ、
<https://www.digital.archives.go.jp/item/3974540>（参照 2026-07-07）

※2 藤原宮跡西面南門築SD1400出土付札木簡「葛根」
木簡庫 <https://mokkanko.nabunken.go.jp/ja/6AJLDC64000120>（2026年6月26日閲覧）

※3 伊藤操子「クズ(Pueraria lobata Ohwi)『草と緑』2巻p.36-41 2010年
https://doi.org/10.24463/iuws.2.0_36（2026年7月8日閲覧）